

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カメレオン		
○保護者評価実施期間	令和8年1月23日		～ 令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23(19家庭)	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月23日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性に合わせた支援ができる。	個別スケジュールで全員分のスケジュールを毎日用意。その表示方法も児童によって異なり、それぞれの児童に合わせたものになっている。活動の参加も、能力や特性に合わせたものになっていて、参加しやすくなっている。活動スペースも、例えば賑やかな場所が苦手な児童に対して静かなスペースを用意するなど配慮している。	常に同じペースで支援するのではなく、特性や能力、調子等を考慮して変化を加えなければならない。随時周りと連携して、適切な形になるようにしていきたい。
2	利用者様に楽しく通っていただいている。 保護者様に安心して預けていただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・最も大切にしていることは、児童のペースを尊重すること。それぞれの活動も、児童のできることから少しずつ頑張って参加していただいている。 ・多くのイベントの実施。 ・面談等で悩み相談や、支援方法の提示をしている。 	保護者様に安心して、信頼して、という部分について、これは良い評価をいただいているが、個人的にはまだまだだと思っている。知識などももちろん、話し方や聞き方など、もっと学んでいけたらと思う。
3	会報等で活動の様子を発信している。	毎月、児童の写真を載せたカメレオン通信を配布。イベントの様子は写真だけでなく、文章でも伝えている。また、Instagramの活用で、イベントや日常の活動を投稿している。	それぞれに載せられる写真の枚数に限りがあったり、プライバシーの観点から顔を隠しての表示となってしまったりするケースが多い。そういったものは月末に保護者にプレゼントすることで、頑張ってイベントに参加する様子や楽しむ表情をお伝えできたらと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対する助言が不十分	相談の機会、面談に來られない方への対応等が欠けている。 知識不足。	面談に來られない方には、送迎で短い時間でも話す機会を作って悩み相談を聞くなどの対応が必要。 管理者、支援員ともに研修に参加するなどの知識向上を目指す。特に、卒業後の進路などの知識が浅いため、中心に学びたい。
2	非常時の対応の周知が不十分	必要な研修は随時実施している。しかしながらそれを周知していないため、保護者にはわからない状態になってしまっている。	研修をした翌月の通信にて、研修の実施報告と簡単な内容を報告するようにする。
3	職員の専門性の欠如	経験の浅い支援員が多い。	研修を頻繁に実施していて、専門性の向上を図っている。 入社時は、経験者、未経験者ともにかなり細かな研修を行っていて、基礎知識を学ぶ機会を作っている。